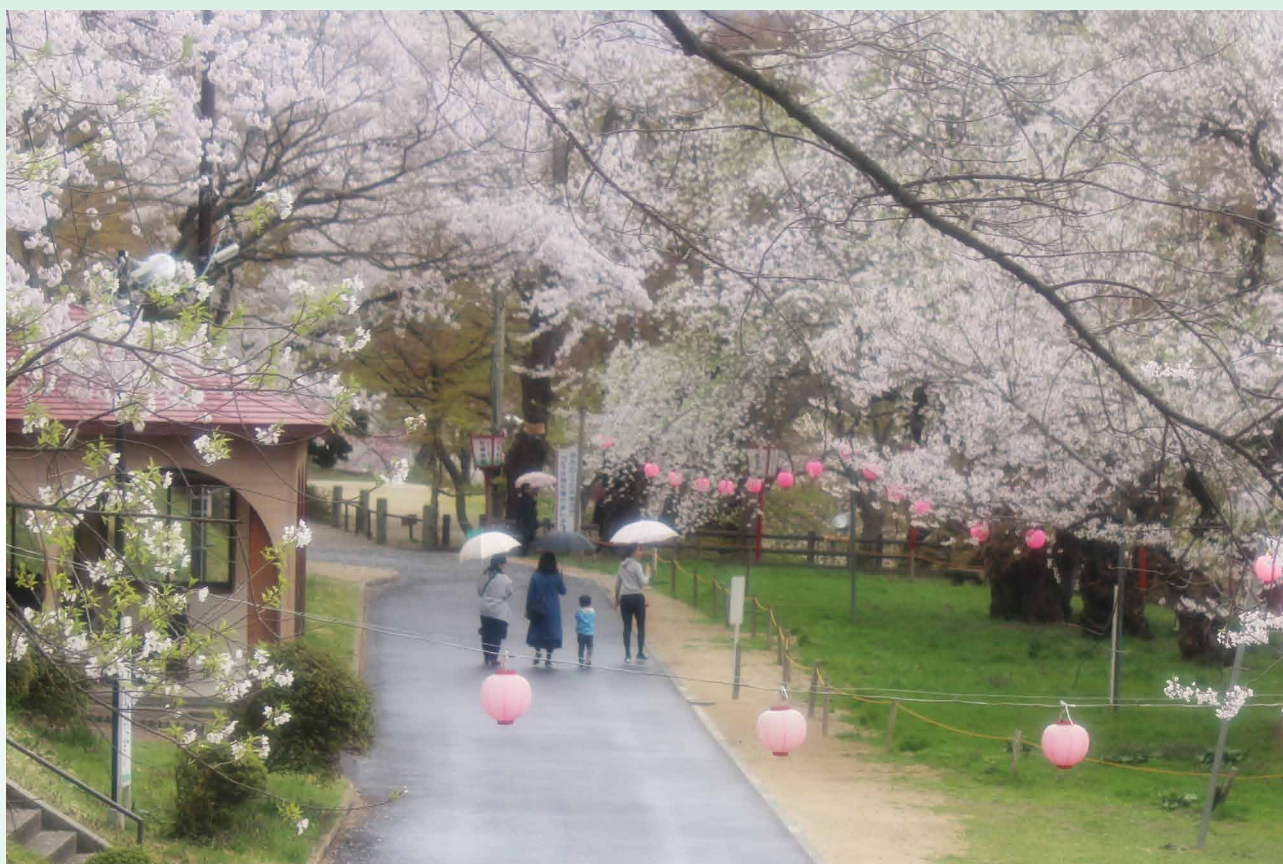


シルバー やまがた

第134号 平成31年4月1日発行

(公社)山形市シルバー人材センター
正会員数 1,152名 賛助会員 43個人・70団体 (2月28日現在)



霞城公園 桜まつり (第六地区 外崎 奈奈美さん撮影)

— 内容紹介 —

- | | | | |
|----|---------------------|------|-----------------------|
| P2 | 平成31年度を迎えて | P6~7 | 会員のひろば |
| P3 | 事業所訪問を実施
女性部会だより | P8 | 就業会員を訪ねて |
| P4 | モニター調査結果報告 | P9 | 人あり・技あり・心あり
新入会員紹介 |
| P5 | わが街自慢 | P10 | 事務局だより |



平成三十一年度を迎えて



理事長 長 瀬 洋 男

で、現役世代支援の重点業種である保育、介護分野への、『**シルバー派遣事業の拡大**』を図り、新規就業開拓に取り組んでまいります。

当センターでは、就業時の事故が平成二十九年度は五件発生してしまいましたが、三十一年二月時ではまだ0件であります。平成二十八年度から取り組んだ「**三年間事故ゼロ**」運動ですが、三十年度から改めて「事故ゼロ」の取り組みを継続しておりますので、役職員・会員全員で『**安全就業の推進**』に取り組みたいと思えます、ご協力をお願いいたします。

また、少子高齢化社会の進展に伴い労働力人口が減少していく中、政府では、「働き方改革」を推進し、生涯現役を推奨しております。

平成二十九年度から、当センターも参加している「**やまがた生涯現役促進地域連携事業協議会**」では、高齢求職者の相談窓口の開設や就職セミナー、観光ボランティアガイドの養成、農産物直売所・農園の運営などの事業に取り組んでおります。シルバー会員の皆様には、今年度も引き続き、一層のご支援をお願いいたします。

平成三十一年度は、平成二十六年に策定された「中期事業計画」の最終年度にあたることから、策定委員会で『**新たな中期事業計画の策定**』を進めてまいります。今年度は、改元と役員改選の年でもありますので、新たな役員のご意見も取り入れながら、関係各位のご支援・ご協力をいただき、シルバー事業の推進に取り組んでまいります。

山形市の六十歳以上の高齢者人口は、平成二十九年十月で約八万七千五百人（対人口比三四％）に増加し、当センターの会員は平成三十一年一月末で千三百三十六人と、ここ四年間は増加傾向にあります。ただ、全国的には会員が漸減していることから、全国シルバー事業協会では、三十年度から再度、会員百

会や地区研修会において、会員の皆様に友人・知人の紹介を呼び掛けてまいりましたが、今年度も引き続き、『**イチイチ運動の積極的な展開**』へのご協力をお願いし、会員の増加に取り組んでまいります。

当センターの契約実績は、会員の増加に伴い、ここ数年順調に実績が上がってきております。

しかし、昨年度の派遣事業は、大口の業務の廃止などから一割程度の減となりました。ただ、小売・流通業を中心に受注件数は増えておりますし、依然求人倍率は一・六倍と高水準ですの

ます。

当センターにおいても役職員による街頭啓発活動や、世話役

による街頭啓発活動や、世話役

事業所訪問 を実施

事業部会長 加藤 芳男

今回は「事業所訪問」の内容を紹介いたします。

数年前から、職班リーダーと担当理事との意見交換会や、各地区の研修会において、就業先の会員様から「役員や事務局職員は、実際に私たちの職場、仕事の内容を解っているのか？ぜひ私たちの仕事ぶりを見て、解ってほしい」とのご要望を頂いております。そのご意見を受け止め、就業先様の了解を得た上で、就業会員様との面談を実施することとなりました。事業部会員二名と事務局職員一名の計三名で、年三回九カ所を訪問しております。

- ① 就業先での仕事の内容。
- ② 健康状態と定期的に健診を受けているか。
- ③ 現在、困っている事はないか。



事業所訪問

- ④ 事務局や就業先への要望はないか。
等々を伺い、会員様の身だしなみや言葉づかい等をチェックし、約十五分程で終了します。これまでの会員様からのご意見は、
- ◎ 良好な環境で就業させてもらっています。
- ◎ 出来るだけ長い期間就業したい。
- ◎ 会員同士協力し合って仲良くやっています。
全体的に喜びの感想が多かったと思います。今後も実施を続けてまいりますので、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

女性部会だより

女性部会長 塩野 美智子

●しるんばコミサロンの活動

新年を迎え、女性部ではしるんばコミサロンを開催しました。頭の体操といわれている、折り紙で可愛い「ピエロ」を折りました。最初は難しそうと困った様子でしたが、説明すると簡単に折れたので、とても楽しいと喜ばれました。家に帰ったら孫に教えられると大喜びで、参加してよかったとの声をいただきました。私も講師をしてとても嬉しかったです。

今年度は他に和菓子店の講師の方をお呼びし、生菓子作りも行いました。こちらも多数の方から参加していただき好評でした。ありがとうございました。

●寄付(バザー売上寄付・タオル寄付)について

2月18日に、市長より山形学園への寄付に對しての感謝状をいただくことができました。山形学園への寄付も、お陰様で7回目を迎えました。「継続は力なり」これからも努力していきたいと思っています。園長先生の笑顔がとても印象的でした。

2月26日には、「愛日荘」と「やすらぎの里金井」へ、未使用タオルを寄付して来ました。女性部だけでは困難な事業ですが、シルバー会員皆様のご協力で成就できたことに安堵しています。施設の皆様からは大変喜ばれています。



入居者へのタオル手渡し

会報モニター調査結果の報告

(抜粋版、会報シルバーやまがた 130 ～ 133 号 / モニター会員 11 名)

モニターの皆様、一年間ご協力ありがとうございました。

モニター会員様からいただいた調査結果は、会報の編集や誌面に限りなく反映させてまいります。

より一層のご愛読、ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

広報部会長 佐藤 明

NO.	モニター会報 NO.	設問 1 印象に残った記事？	設問 2 載せてもらいたい記事？	設問 3 表紙写真を含め全体的な印象や感想そして意見や要望
1	会報130号 (H30.4.1)	会員の広場(鬼のツノ)	—	表紙の桜がとっても良い 土手は気をつけてください
2	会報130号 (H30.4.1)	会員のひろば 就業会員を訪ねて	—	「就業会員を訪ねて」は毎回楽しみにしております。会員の方がどんな仕事をしているのか苦労しているのか良くわかります。今後も色々な方を紹介してください。
3	会報131号 (H30.7.1)	地域紹介 わが街自慢 会員のひろば 就業会員を訪ねて	会員のひろば編は共通の考えがあり、定年後の人生観を筆に執ることは、脳活にもつながり良い場面です。	会報の表紙、総会時の写真がすばらしい
4	会報131号 (H30.7.1)	安全適正就業強化月間 役員視察研修実施 アンケート調査結果報告	・定時総会の出席者数、会員増加対策について ・会員の健康についての注意点や維持について	今回(131号)の内容は近年では出色です(特にアンケート調査)。ただ一点は退任・新任役員紹介ですが氏名だけではどこかごなたかとなります。地区・出身母体等記入してほしい。
5	会報131号 (H30.7.1)	わが街自慢 会員のひろば	愛好会の活動状況等について	・全体的にすばらしい ・就任者の挨拶、退任者の一口コメント等を掲載してもらいたかった。
6	会報132号 (H30.10.1)	会員のひろば 「シルバー」という 名の下に集う身になって	次号には文化祭の会場の様子や作品等紹介する記事の掲載を願います。	表紙写真が今号にふさわしい季節を感じさせる良い作品でした。
7	会報132号 (H30.10.1)	安全講習会・参加者の声 会員のひろば 就業会員を訪ねて	安全就業標語入選発表会の記事に最優秀・優秀作品に入選された方の感想を載せてもらいたい。	表紙いいですね。秋の風情があります。
8	会報132号 (H30.10.1)	第15回安全就業標語 入選発表会・ 安全講習会実施	日々の暮らしに役立つ情報。今は消費税が10%になるような事で話題になっているようです。	表紙の写真・秋の装い。紅葉がすばらしく心がいやされました。しばらく見ていました。「心に残る作品創り」の記事も読みました。すばらしい写真だと思いました。
9	会報133号 (H31.1.1)	・ブロック研修 自助共助についての話 ・清掃奉仕活動 小雨の中参加者85名の方が頑張った事	会員の就業先の選択肢拡大の目的で剪定講習会を開いてもらい、それをいかして本当に活動できたのか。	・まっ先に目に飛び込んで来た表紙の「重ね扇紅白椿」見とれてしまいました。とても90歳とは… ・いつも楽しみにしている「わが街自慢」今回も水分(みくまり)神社へ行ってみたい所となりました。ありがとうございました。
10	会報133号 (H31.1.1)	抜き打ち安全パトロール 実施報告書 (良い意味での緊張感をもらった) 事務局だより内の 所得税法上の取扱いに 於ける公的年金控除額一覧 一目瞭然⇒理解)	昨今の人手不足の影響で新しい分野から必要性も生じ職種も増えていると考えられます。そのまわりの簡単な説明、紹介等併せて掲載していただきたいと希望します。	新春に相応しい淡いピンクの中に紅白椿の押絵の表紙は穏やかで好印象でした。シルバー人材センターという有意義な組織がまだまだ周知されていない感じがしています。ポスティングシステムの活用等を利用する等もっとPRしてほしい思いがします。
11	会報133号 (H31.1.1)	安全パトロール実施 就業会員を訪ねて 人あり・技あり・心あり	毎号楽しく読ませていただいています。より分かりやすく、親しみある会報をお願いします。	驚きです。90歳の方の作品(手が込んでいる)、またシルバー会員だったとは驚きの連続です。

第一地区

高橋 俊

私の居住する第一地区は商業の街であるがゆえ、ドーナツ化現象のため人口も子供の数も少ないのが現状です。そんな中、今回は地域の宝物であり、我が家のお隣さんでもある山形市立第一小学校をご紹介します。

一小の歴史は古く、明治生まれの祖母は、一小の前身である横町尋常小学校の第一回卒業生であることをよく自慢していました。一小の歴史もさることながら、特筆すべきことはグラウンドに屋根付の本格的な土俵があることでしよう。毎年五月に行われる相撲大会は児童全員が参加し、それぞれが工夫して考えた四股名はなかなか秀逸で、六年生の代表による横綱土俵入りは観客から期



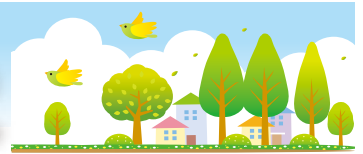
幕内土俵入り

せずして「ヨイショ！」のかけ声もかかります。また、一九二七（昭和二）年に、友情と親善を目的にアメリカから贈られた「青い目の人形」の精神を今も受け継ぎ、友情と平和の尊さを教える『あしたに』の像が正面玄関へのアプローチに建てられています。

春には校庭の桜を愛で、夏には地域も一体となった夏祭りの露店から漂う匂い、秋には運動会の応援練習で知るその年のトレンドの曲、冬には雪をまとった築山をながめ、五感で楽しませていただいている一小の風景です。しかし、何よりグラウンドから響く子供達の元気な声がシルバー世代の私達にとっては最高の活力剤となっているのです。

地域紹介

わが街自慢



第八地区

武田 満

「みずきよらかに
まみがさき
わかくさもえる
きしちかく♪…」

山形市立第八小学校（一九五三年開校）校歌の歌い出しだ。わが第八地区は馬見ヶ崎川に沿った西南に位置している。第八小学校の学区内、あさひ町、小白川町一〜五丁目、松波一〜三丁目、緑町三〜四丁目から成る。

馬見ヶ崎川沿いは、四季折々に市民で大いに賑わう。春には二百本の桜のトンネルがライトアップされ、秋には日本一の芋煮会フェスティバル会場、山形まるごとマラソンのコースにもなる。



馬見ヶ崎川風景

市民の憩いの場でもある馬見ヶ崎川はその昔、山形城の北側（旧県庁前通）を流れていた。暴れ川で度々洪水に見舞われたため、一六二四（寛永元）年、山形城主・鳥居忠政が盃山を切り崩し現在の流れに変えたといわれる。地区内には山形八小、山形一中、山形大、山大付属小・中校や市消防本部、県庁、県警などがある。

いま第八地区の会員は盃山や千歳山、馬見ヶ崎川を望みながら、桜の春を待っている。



大盛況だった日本一の芋煮会フェスティバル

芝刈りの近況



出羽・明治地区
菅井 和廣

山形市 S C ゴルフクラブ会員として年四回のゴルフコンペと懇親会に参加して交流を楽しんでいます。

ゴルフを継続しているのは、体幹筋力の維持が目的で、そのために、定期的に練習や所属するゴルフクラブのイベントに参加しています。

年齢を重ねると飛距離が落ちるのが当然ですが、インストラクターの指導、インターネットで技

術の習得を実践して、飛距離を維持しようと努力しています。

二月の初旬にいわき市のコースにて練習場で一緒になる仲間八人と一泊二日でプレー。これまでの練習の成果の確認と今年の打ちはじめをして、夜はアンコウ鍋で美酒を堪能して来ました。

来年の東京オリンピックからゴルフは正式種目になりますので、若い人達の競技人口も増えるのではないかと思いますが、少子化があらゆる業界に影響を与えていることに、ゴルフ界も例外でなく、どのコースも中高年のゴルファーがほとんどです。

そのため廃場やコース縮小に追い込まれてソーラー発電パネルが設置されたりしているゴルフ場が出てきているのが現状です。

納豆



山寺・高瀬地区
大友 智恵子

この年頃になりますと、話題が病気や死に関することが多くなります。

さるご住職は、奥様と一緒に毎晩納豆一パックをお食べになるそうです。住職いわく、

「納豆一パックの成分には、脳梗塞の治療のための点滴一パックと同じくらいの成分が有る。」と。

確かに、ご住職夫妻は齡八十後半ですが、頭脳明晰、目も耳も足も支障なく、又ご住職は年に二十数回東京方面へも足を運ばれる、それはお忙しい方です。

納豆を食べると体中の血管が隅々まできれいになる。こんな手軽な健康法はない。と教えていただいたのです。

しかし、やってみると続きません。これを三百六十五日、何十年も続けるのは、まさに修行です。それではちょっときついの、

私は、時々納豆を食べながら、わが高瀬地区の三宝岡風立寺に座す、ピンピンころりのご利益のある「ころり観音様」にでもお参りに行き、毎日ピンピン元気に頑張ろうと思った次第です。

「みころりの園宿直員」としての勤務所感



蔵王地区
小関 誠

昨年十二月より、宿直員として就業し、リーダー並びに諸先輩方からご指導をいただきながら鋭意努力中です。不備な点を反省しつつ、約三ヶ月が過ぎました。

古希を過ぎ振り返ると、仕事と人生を無難に過してきました。

十数年前、高齢の両親を介護施設で、穏やかに看取ることが出来ました。その時は、お世話をしていたいただいた職員の方の、ご苦労を感じるとる事が希薄でした。

介護施設に就業してみても、介護という仕事がいかに重要で大変か





多員の

健康・趣味

を再認識しております。

介護職の仕事は綿密細やかな引継ぎや意志の疎通が必要とされませす。突然の病気や救命対応。日夜、複雑な勤務に就きながら、いつも張詰めた心構えで仕事をしてい

す。百名近くの入居者は、様々な個性を持ち、健康状態や食事・家庭環境において、それぞれ異なった生活を送られています。その方々の介護業務と、それらの基盤に携さわる各職員の方々は、本当に御苦労様です。

私も宿直員として、職員の皆様

モニター調査を終えて



東沢地区
山田 正男

会報シルバーやまがた第一三〇号から一三三号までの四回（一年間）のモニター調査を無事に終了して感じたことですが、調査の主旨は、会員の方々にシルバーやまがたを楽しく、解り易く、会員の為の必要事項を入れて各号とも満足のいく内容にして、又表紙は季節に合った写真を用いるようにすることです。諸々の要望等盛りだくさんを会報に載せるにはどうしたら良いか一考させられました。そして各号に期待しマンネリ化になつていないかが強く感じられるようになりました。調査では記事の内容、配分、配置、印象に残るか、また載せたい記事、表紙写真等がモニター調査の内容でした。

今後も誌面作りは大変であるとは思いますが、シルバー人材センター、また会員のためにより良い

会報にしていただきたいと思います。

寄稿

あたご荘を訪ねて



西地区
吉田 静子

私達歌謡愛好会は、昨年十月十六日に山形市養護老人ホーム「あたご荘」への慰問を実施いたしました。秋晴れのさわやかな午後、会員十八名は、歌や詩吟、音楽体操等で入居者の皆さんと楽しく交流することができました。一曲一曲に親しみのある、懐メロ曲が流れるたびに当時の自分に戻ったのでしよう、ほほえんだり、涙したり、物思いに浸ったりしている姿はまさに人生の縮図そのものであり、私達に大きな勇氣と希望を与えてくださいました。特に我が愛好会所属八十八歳の片桐氏の「北国の春」は感動を呼び、背筋を伸ばして拍手し、目を輝かせてくれた姿は焼き付いて離れません。又



なごやかな慰問会場

詩吟の「山寺」と「最上川」は身近に感じたのでしよう、物音ひとつせず、ひっそりとすい込まれるように全身で受け止めてくれて、緊張感すら伝わって来ました。あつという間の一時間でした。持参した手みやげを入居者のひとりひとりに手渡しし、ありがとう！元気でネ！七十余名の入居者の方と職員の方々の賛同のもと心ひとつに、和やかなあたたかい心のふれ合いに深く感動しつつ、来年の再会を約して帰路に就きました。

◆◆◆◆◆ 就業会員を訪ねて ◆◆◆◆◆

佐々木良樹・堀 修二 霞城セントラル駐輪場

山形駅西口の「霞城セントラル駐輪場」を訪ねました。最初に和田所長から業務概要（駐輪場管理と西口駅前広場駐輪場管理）の説明を受けました。当駐輪場は、利用者がゲートのタッチパネルに定期券をかざすだけで入庫ができるシステムのため、大変便利であると好評を得ているそうです。就業時間は前勤が七時～十三時三十分、後勤が十三時～十九時三十分。二交代制で会員八名が就業しており、一班二名の四班体制です。

リーダーの佐々木さんは、売上金を回収してデータとの照合・精算を行う「金庫締め」の業務には、今でも毎回、神経を使いますと話していました。通常業務としては、定期券発行、構内整理、記録紙交換、長期駐輪調査等があります。また、西口駐輪場への巡回や長時間駐車場の管理も行っています。業務マニュアルは歴代のリーダーらが作成し、随時、実態に即した内容へと更新されていました。これをベースとして、各班の連携が特に必要

な業務なため、毎日行う引継ぎを重視しているそうです。

冬季にかけては、高校三年生が去り、寒さや雪のため自転車を引き揚げる方もおり、二月頃が利用者の最も少ない時期です。しかし、これからの高校入学式前は、最も多忙な時期ですが、賑やかで大変活気がある季節を迎えます。混雑想定日は、応援体制を組んで登録業務（パソコン入力等）に当たるそうです。当駐輪場は、駅に近いことから通勤・通学で電車を利用されている定期券の方が大半ですが、一回券の方も二割ほどおられ、いつも挨拶と親切丁寧な言葉づかいに心掛けています。

（取材・広報部）



就業中の佐々木さんと堀さん

佐々木ヒデ子 みこころの園

沼木の社会福祉法人公和会指定介護老人福祉施設みこころの園を訪ねました。施設は入居者約八十名、デイサービス・ショートステイ約五十名の方が利用されており、宿直・送迎・食器洗浄・清掃等で九名の会員が就業中。

今回は、食器洗浄業務担当の佐々木ヒデ子さんを訪ねました。

就業日は月・火・木・土の週四日。十二時半から十五時半までの三時間と、家事に支障のない時間帯、通勤時間も十五分と短く、とても働きやすいですと佐々木さん。

取材中、目の前の厨房から大きな台車で利用者さんの昼食が運ばれるのを目前にして、「食器の枚数は何百枚？」と伺ったところ、「山ほどです。これ位かな？」と両手を大きく広げた。作業内容は食器洗浄後、一時間ほど乾燥・種類ごと棚に収納。

明るい施設のホールでは、昼食を終えた利用者さんが、元気な職員さんと言葉を交わしていました。それを見届けた佐々木さん、仕事場の厨房へ：

「職場の皆さま

んのご協力をいただきながらがんばっています」力強い言葉が印象的でした。

（取材・広報部）



厨房へ向かう佐々木さん

シルバーに

人あり 技あり

心あり

仏像彫刻に
魅せられて



第四地区

渥美 健治

宗教色とは無縁の仏像彫刻、その美に魅せられた渥美健治さんにお話を伺いました。

何故、仏像を彫るようになったのか、それは四十代半ばに定年後の生き方、過ごし方を考え始めたから。細かい仕事が得意であったことから物造りでも、しかも個人で継続していけるもの…と思索している中、何気なく入った書店での仏像彫刻の手引書との出会いです。すぐに通信教育を申し込み、一年間の講習後は本業の傍ら独学で彫刻に没頭していく毎

日となり、今ではNHKカルチャー教室の講師アシスタントを務めるまでに。

作品の展示会は二年に一度のことです。

仏像の慈愛に満ちた眼差しと温もり、木（米檜）とは思えぬ法衣の質感、繊細な指先、実際に目にしていただければ、その完成度の高さで美しさに観る者も魅了されることでしょう。

(取材・広報部)



阿弥陀如来



弥勒菩薩



聖観音

新入会員紹介

- | | | | |
|-------|--------|----------|-------|
| 第一地区 | 佐藤 幸夫 | 千歳地区 | 丸子 光雄 |
| 第二地区 | 新関 悦子 | 飯塚・榎沢地区 | 渡邊 隆 |
| 第三地区 | 藤澤 秀光 | 東沢地区 | 金子 忠幸 |
| 第六地区 | 中川 よう | 滝山一地区 | 後藤 俊治 |
| 西地区 | 森谷 和男 | 滝山二地区 | 伊藤 和夫 |
| | 河内 洋志 | | 林崎加代子 |
| | 佐藤 良子 | 出羽・明治地区 | 海鋒 博幸 |
| 第八地区 | 加藤 妙一 | 大郷地区 | 大沼 拓 |
| 第十地区 | 日下部光太郎 | 楯山地区 | 海谷 正弘 |
| 鈴川二地区 | 渡邊 豊治 | 蔵王地区 | 佐藤 太士 |
| | 渡辺 永次 | | 宗片 健一 |
| | 高橋正太郎 | | 岸 正美 |
| | 小鹿 恵司 | | 坂本 政臣 |
| | 武田 博泰 | | 佐藤 一郎 |
| | 井上 節 | | 藤川 正美 |
| | 吉野美代子 | 南山形・本沢地区 | 小笠原 雅 |
| 鈴川三地区 | 長谷川 謙 | | 竹田 茂 |
| 千歳地区 | 橋本 卓雄 | | 山口 均 |
| | 佐藤まり子 | | 吉田 喜義 |
| | 熊谷 淳子 | 西部地区 | |

事務局だより

山形市シルバー人材センター
山形市双葉町一丁目二番三号
電話(023)6476647

年度替えの 手続きについて

更新と退会手続きをお早めに！

年度替えになり、会員の更新手続きの時期です。世話役の方々に会費の集金をお願いしておりますので、会費の納入をお願いいたします。

また、退会される方は、退会手続きが必要となりますので、各地区の班長までご連絡をお願いいたします。

年度会費は 傷害保険料に充当

会員の皆さんからいただいている年度会費(会員互助会除く)の主な使用内容については左記のとおりです。

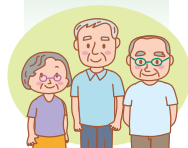
会員傷害保険料(一人あたり)

二千百九十円

総会議案書・会報印刷費等

九百円(うち、三百十円を充当)

お知らせと お願い



■配分金支払日

- 四月十九日(金)
- 五月二十日(月)
- 六月二十日(木)

■入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

- 四月四日(木) 十二日(木)
- 四月十八日(木)
- 五月九日(木) 十六日(木)
- 五月二十三日(木)
- 六月十三日(木) 二十日(木)
- 六月二十七日(木)

■就業相談日(午後一時三十分)

(就業に関しての相談です)

- 四月十一日(木)
- 五月九日(木)
- 六月十三日(木)

行事イベント案内

平成三十一年度 定時総会の開催

日時：六月十二日(水)

午後三時

場所：ホテルメトロポリタン山形
懇親会も予定しております。
詳細は後日ご案内いたします。

センター

緊急連絡先

〇九〇一六二五五―五三〇二

土日・祝日に事故等が発生した場合の緊急連絡先です。

また、会員証と一緒にお渡しする緊急連絡カードは、就業の際必ず携帯するようお願いいたします。



あしがき

暖かな日差しとなり、花咲く季節になりました。さて、今年は大きな節目の年。
四月末で平成の年も終え、来る五月一日には期待膨らむ、新たな元号を迎えます。
当センターは、昭和五十五年十月開設。会員数、四百八十八名でした。今や当初の二倍を超える会員数になりました。
更に昭和五十七年、会報を発行開始し、本号に至っております。
当初から今日までの長い間、それぞれの場で関わり、築いて下さった諸先輩の方々と会員の皆様に感謝し、私共も新たな気持ちで、引き続き努力して参ります。
取り巻く環境は、働き方改革に始まり、山形市が中核市に、消費増税等、多様な変革の年になる様です。
又、オリンピック・パラリンピックの前年として盛り上がるの時でもあります。
改元に伴い、相変わらずの高齢者を狙った特殊詐欺等も多いと言われております。日頃から、なお一層の用心をしたいと思います。
あのチコちゃんの声が飛んできませんように。